

第3回 療育講座を開催しました。

第3回 療育講座として、岐阜県作業療法士会より、認定作業療法士・認定心理士の山河陽一先生をお招きし、“感覚統合と精神運動発達の枠組みから見た「不器用さんへのアプローチ」～日常生活の中でできること～”というテーマで療育センターを利用して頂いている保護者の方向けに、講演会を開催いたしました。

山河先生には、作業療法士の立場から、次の様な内容のお話をして頂きました。

- ① 2種類の不器用さについて
- ② 精神運動発達を体系的に知る
- ③ 運動や器用さの発達には3つの感覚
(前庭覚・固有覚・触覚)が適切に処理されることが重要である
- ④ 姿勢の発達が運動や器用さの発達を促す
- ⑤ 感覚や姿勢の視点から療育活動の有効性を理解する
- ⑥ 鉛筆や箸などがうまく使えない子のためのホームプログラムの紹介



当日は、保護者、職員を含め64人が参加しお話を聞き、講演を聞いた保護者の方からは、次の様な感想を頂きました。

・初めて参加しましたが、とても面白く聞けました。当たり前に行けると思っていたことも、色々な感覚を使わなければ出来ないと言う事がわかりました。(年少：女兒)

・“ただ不器用、手先が上手に使えない”というだけではなく、それ以前に“感覚統合が未熟”ということがあると言う事がわかりました。それを踏まえて家でのフォローの仕方を変えていきたいと思いました。(年少：男児)

・普段受けている療育が発達段階を踏まえ工夫してやってもらっているものだという事がよくわかりました。これからも意識して見ていきたいと思いました。(年中：男児)

・今までの子育ての中で疑問だったことが“なるほど！”と目の前が開くお話が多くあった。(年長：男児)

理論的なことからお家でできるホームプログラムまで、幅広く教えて頂きました。保護者の方と共にこれからの子ども達のサポートに役立てて行きたいと思っております。